



**相談支援センター優愛** (狭山：04-2935-3402/所沢：04-2937-5433)  
**障害を抱える子供から大人までの相談を**  
 未就学児から成人した方まで、幅広い方々の相談をさせていただきます。未成年の方であれば、保護者・学校・本人・行政機関・事業所との架け橋になります。又、成人した方の相談であれば就業先の担当者とやり取り等を行い、生活を支える相談を行います。



**優愛介護狭山** ※居宅介護 (TEL：04-2950-3010)  
**自分らしく生活を送るお手伝いを**  
 障害をお持ちの方の生活のサポートを行います。  
 「こういう風にしたい」という生活像を基に、自立支援の観点から「出来る事」は行って頂き「苦手な事」はサポートを致します。



**放課後等デイサービス**  
**未就学から高校生までトータルサポート**  
 小学校低学年を対象にした「ぱれっと」、看護師を配置し医療的ケアの対応の行える「にじいろ」中高生向けに進学、就労のサポートを行う「スタディサポートMJ」と市内外に6店舗の事業所がございます。  
 ※詳しくはホームページをご覧ください

概要

事業所名	Design Base (デザインベース)
事業名	就労継続支援B型
営業日	月曜日～金曜日
営業時間	◇ 8:30～17:30
サービス提供時間	◇ 9:30～16:00
送迎	狭山市駅・稲荷山公園駅コース、柏原・広瀬・笹井コース※集合場所へのお迎えとなります。
休業日	土曜日、日曜日 年末年始・ゴールデンウィーク・お盆

狭山市駅東口バスロータリー西武バス狭山台団地行き (30番31番)「狭山市駅東口」から乗車し「狭山台団地」で下車 徒歩2分

ホームページはこちらから  
 ホームページから  
 Instagram  
 YouTube掲載中!





一人ひとりの行動で『未来が変わる』『未来を変える』『未来へつなぐ』

# より良い人生をDesignする

## 「より良い人生を歩んでほしい」

仕事は生活を支える為に必要なものであり、やりがいを感じさせてくれるものもありますが、一方では家族や趣味などプライベートの時間も、充実した人生を送るうえで欠かすことができないものです。仕事もプライベートもどちらも充実させる働き方・生き方を目指してDesign Baseを作りました。

## 「働く環境」を考える

私たちはどこかで「こんなものだろう」と固定概念や先入観を持ってしまう事があります。「働き方」「働く環境」も線引きをしてしまい、そこから前に進む事をあきらめてしまう、もしくは先に進む事が出来るのに気が付いていない可能性があります。言葉の通り「働く環境」を考えた時に、より良い環境であれば誰でも嬉しいはずですし、思わず自分の職場を自慢したくなるはずです。自慢するのであれば、自分の職場に対して愛着も沸き、仕事に対してもやりがいを感じるきっかけに繋がると考えています。

## 自分の目標に向かって無理なく行う

個人毎に予定を決めて作業を行います。木工作业、カフェ業務や資材回収、運搬、パレット制作など外の活動もあります。作業の合間に製品広告としてYouTubeやInstagramの投稿等も行います。同じ事を安定して行い続ける働き方でも良いですし、少し身体を動かしたいという方は、午前と午後で作業を変えて行います。大切な事は自分の目標を無理なく行う事です。

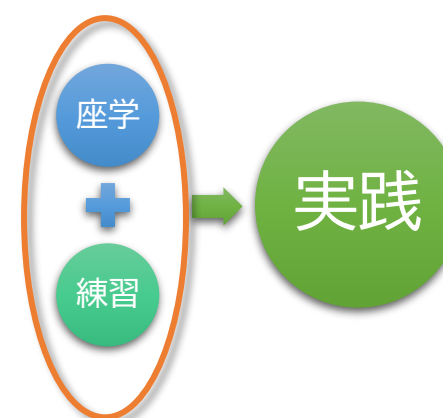
## カフェで一息入れる

休憩は決められた時間に取りますが、その他にも「ここまでやったからひと休憩！」とカフェに行って喉を潤すことも出来ます。作業中に小さな目標を決めて調整をしながら働けます。無理をして行うのではなく、自分のペースを探りながら行います。

## 「SDGsの取り組み」

廃材となる木材を地域の建築業の方々から頂き、一手間をかける事で「子ども向けの玩具」「様々なノベルティ」「木質パレット（バイオ燃料・猫砂）」を制作して再利用します。自分で出来る事や得意な事を活かしながら事業所の活動に参加する事で、社会貢献や地域貢献に繋がる活動を行います。

## 仕事・作業の内容理解の為のアプローチについて



「座学」「練習」「実践」の過程をわかりやすく行えるように、まずは動画や写真で事前学習を行います。この時に1回目は雰囲気や工程を確認して、2回目は見ながら作業の練習を行います。特に「学習（座学&練習）」の部分が大切だと考えています。事前に情報を得ておくことで「練習」と「実践」の流れがよりスムーズに行えます。

成功する為の挑戦を繰り返しながら学びます

## その方にあった<sup>じぐ</sup>治具（作業を助ける道具）



どんな作業も短い時間であれば、それほど負担はありません。しかし、長い時間作業を行うと負担も大きくなります。例えば、ヤスリ掛けの際に製品を手で押さえ続けていると手が疲れてきますし、腱鞘炎になるかもしれません。そういった事を軽減する為に治具作りを「環境」の一環として工夫します。